

令和5年度 事業報告書

大府福祉会基本理念

聴き、寄り添い、動く

私たちは、利用者・家族・地域などの「声」に耳を傾け、誰もが安心して暮らしていけるように、様々な福祉サービスを行います。そして、一人ひとりの想いに寄り添い、望む暮らしや生き方の実現に向けて必要な支援を行います。



社会福祉法人大府福祉会

基本情報

法人名	代表者名	認可年月日	登記年月日
社会福祉法人大府福祉会	理事長 安井孝昭	1985年1月9日	1985年1月25日
住所	〒474-0011 大府市横根町名高山78番地2 電話0562(85)5228 FAX0562(85)5229		
メールアドレス ホームページ	obufukushikai1985@aroma.ocn.ne.jp http://www.obufukushikai.com		

法人事業一覧

□法人本部	〔組織〕理事会 評議員会 評議員選任・解任委員会 苦情解決会議 中長期総合計画策定推進委員会
＜施設支援事業＞	
◇あけび苑	生活介護事業 就労継続支援B型事業
◇東あけび苑	生活介護事業 就労継続支援B型事業 居室確保事業
◇ひだまり	生活介護事業 居室確保事業
◇あけびの実	就労継続支援B型事業
◇たくと大府	生活介護事業 日中一時支援事業 居室確保事業
＜児童発達支援事業＞	
◇大府市発達支援センターみのり	児童発達支援事業 保育所等訪問支援事業 特定相談支援事業 障害児相談支援事業
＜地域生活支援事業＞	
◇ホームヘルプセンター「そら」	居宅介護事業 行動援護事業 移動支援事業
◇ホーム事業所「そら」	共同生活援助事業 ひいらぎホーム 若草ホーム 池之分ホーム ひまわりホーム はんつきホーム みのてホーム よしかわホーム くすのきホーム

次項以下、評価の説明

○ … 実施

△ … 実施したが課題を残す

— … 中止

× … 未実施

大府福祉会（法人）の主要事業の実施

事業の内容			開催	実績	評価
会議の開催	評議員会 現員8名	7名出席	6月26日	令和4年度事業報告・収支決算等	○
		7名出席	12月15日	令和5年度収支補正予算	
		7名出席	3月28日	令和6年度事業計画・収支予算等	
	理事会 現員6名	5名出席	6月8日	理事長の選定・事業報告・決算等	○
		6名出席	6月26日	理事長及び常務理事の選定等	
		4名出席 6名出席	11月29日 3月19日	補正予算・規程の改定等 令和6年度事業計画・収支予算等	
	評議員選任・ 解任委員会	4名出席	6月15日	評議員の選任を行う	○
4名出席		12月5日			
監事監査 監事2名	1名出席	5月29日	令和4年度事業監査 指摘無し	○	
	1名出席	5月29日	令和4年度会計監査 指摘無し		
管理者会議	9名出席	年間24回	事業の経営・運営の協議等	○	
副管理者・ リーダー会議	7名出席	年間6回	事業所の情報交換・調整等	○	
全事業所合同職員会議			3月5日	中長期計画の説明・事業所報告	○
委員会の開催	苦情解決会議		8月30日	第三者委員に令和4年度状況を報告	○
	中長期総合計画 策定推進委員会		11月29日	第5期中長期総合計画の策定	○
	計画策定部会		3月8日	中長期計画の進捗確認・次年度確認	○
	新事業部会		年間8回	新事業に関する計画の検討	○
	人材育成部会		年間8回	人材育成に関する計画の検討	○
	地域・広報部会		年間8回	地域・広報に関する計画の検討	○
法人主催 職員研修 の実施	段階別研修		年間7回	法人内の同段階の職員同士が、必要とされる学習を互いが良い刺激の中で受けて切磋琢磨し、法人全体の底上をはかる	○
	全体研修		7月7日 8月10日 10月13日 1月22日	権利擁護と虐待防止 法人内実践発表会 障害福祉制度と法人経営状況 防災・災害対策	○
	法人事例検討会		年間5回	法人内各事業所の支援事例について 情報共有し検討した	○
	内定者交流会		11月10日	新卒内定者向けに実施	○
人事	人材の確保		適時	必要に応じた職員採用を行う	○
情報の公開	ホームページの公開		通年	適時に更新	○
	機関紙の発行		年2回	関係者、公共施設に発行 1050部	○
	広報パネルの展示		適時	市内イベント15か所に掲示	○
法人独自のサービス	緊急時の一時預かり		緊急時	施設利用者 延べ10件に対応	○
	送迎サービス		通年	施設利用者 64人利用	○

募 金	募金箱の設置	通 年	市内外の店舗や施設39か所に募金箱を設置	○
財 務	法人経営計画の運用	通 年	目標を達成することができた	○
相談会	第三者委員との相談会	8月30日	利用者・家族 2名の相談	○
啓 発	市民向け勉強会の開催	3月10日	啓発を目的としたイベントを二ツ池公園で開催	○
	各種体験会の実施	適 時	小学生体験・福祉実践教室 等	○
社会貢献	貸 館	随 時	休日に事業所のスペースを市民活動・福祉活動団体に貸し出す	○

令和5年度の重点的な取り組み

1. 第5期中長期総合計画の策定	評価	○
<p>令和6年度からの6年間を期間として策定した。計画の体系は第4期と同じく「福祉サービスの整備・充実」「人材の確保・育成」「地域とのつながり」として推進部会が扱う分野で構成して作成を行った。</p> <p>前半3年を法人の基礎体力をつける基盤固めの時期、後半3年を前半の実施状況を評価した上で発展的な計画となるように作成を進めた。タイトルを”変わりゆく時代、変わらぬ想い”として令和6年4月1日付で発行することができた。</p>		
2. 財務計画の策定	評価	○
<p>コンサルタントを入れた財務分析結果を踏まえて2期目となる財務計画の策定を行った。財務分析の結果により明らかとなった課題に対して健全化を図りながら、将来的な資金の確保を行うことができるものとした。</p> <p>事業中長期計画と連動するよう6年間の計画として、各年の収支をシミュレーションをしたものとなっている。</p>		
3. 暮らしの場の支援の充実に向けた検討	評価	△
<p>新たな暮らしの場の確保については人材確保の課題や財務分析結果から見てきた法人の財務状況などから、次期計画期間での実現に向けての動きは見送ることになる。しかし、既存のグループホームでの週末の受け入れニーズに応え、週末利用者を増やした。また、ホームを支える仕組みとして、「そら」スタッフを各ホームの担当として連絡や支援体制の調整役として配置した。しかし、グループホームの管理・運営に関して多くの問題が確認され今後に課題を残した。</p>		
4. 生き生きと働ける法人に向けた取り組み	評価	○
<p>職員意識調査による改善計画をすべて実施することができた。時間外勤務の改善、人事評価の改善、資格取得改善といった、人材育成部会 PT からの提言にすべて応えることができ、一般職のモチベーションの向上につなげることができた。</p>		
5. 広報活動による媒体のあり方の検討	評価	○
<p>プロジェクトチームによりホームページのリニューアルについて着手した。他法人のものも参考にしながら、どのような情報発信が効果的かを検討し、制作をデザイン業者に依頼した。 (令和6年6月頃完成予定)</p>		

大府福社会中長期総合計画 6年目の評価 [令和5年度の実施内容]

1. 新たな福祉サービスの展開

(1)必要な福祉サービスの構築	内 容		評 価	
①必要な事業の整備	新規事業(暮らしの場)の創出	検討・準備	法人内の課題と財務状況を鑑み、この計画を中断することが決定	△
	大府市発達支援センターみのりの受託運営	見直し	みのりの受託運営を継続した	○
	既存事業(日中活動や暮らしの場)の量的拡大(定員問題)	検討・準備	今後の見込を調査し受入方法を検討した	○

(2)事業運営の強化	内 容		評 価	
①事業運営の強化	高齢化する利用者への支援	充実	前年度見直した内容で、当年度も認知症判別チェック等を実施した	○
	虐待防止に関する取り組み	継続	各事業所で虐待防止委員会と研修を実施したが虐待事案が1件発生	×
②利用者の安心・安全の保障	災害発生時の備え	継続	法人版BCP作成と2施設に災害備蓄を実施、自治区と防災訓練	○
	施設及び設備等の大規模修繕	検討・準備	ほぼ計画通りに大規模修繕を実施	○
	車両の管理体制の構築	見直し	入替車両候補を提案し、助成金申請、あけびの実とたくとが購入	○

2. 人材の確保・育成

(1)人材の確保	内 容		評 価	
①必要な人材の確保	法定外福利厚生への取り組み	継続	引き続き幅広い国家資格保持者に手当てを充実させることができた	○
	効果的な方法での求人活動	実施	インターンシップ制度を活用し、新卒採用につなげることができた	○
	中高生に向けての発信	実施	スライド資料を見直し、講義の質を高めることができた	○

(2)人材の育成	内 容		評 価	
①人材の育成	法人研修の実施	見直し	全職員対象に学びたい内容のアンケート調査を実施した	○
	キャリアビジョン作りの取り組み	継続	新人事制度に対応したキャリアビジョン図を作成し活用している	○
②人事制度の導入	教育制度の導入	継続	業務習得に向けて面談やOJTにより教育することができた	○
	給与制度の導入	継続	新給与制度の運用を引き続き実施できた	○
	人事制度の効果的な運用	継続	新人事制度ガイドブックの活用で制度を広く周知できた	○

(3)はたらきやすい職場	内 容		評 価	
①労働環境の改善	意識調査から見えてきた課題の改善	継続	課題の改善に向けたPTを立ち上げ具体策を提案することができた	○
	生き生きと働ける法人に向けた取り組み	継続	有給取得、時間外労働のさらなる改善をすることができた	○
	ハラスメントの予防	継続	外部講師を招いた研修で、理解を深めることができた	○
	メンタルヘルス対策	継続	ストレスチェック制度を導入し、個人・事業所単位で状況を把握した	○

3. 地域とのつながりの充実

(1)地域貢献	内 容		評 価	
①地域への貢献活動	地域の課題とニーズに合った活動	継続	貸館機能は継続し、小学生向け体験会を実施	○
	市民向け勉強会の発展	実施	より広く多くの方に知っていただけるように、場所を公共機関に設定し、他事業所も交えクッキー販売を行うイベントを実施した	○

(2)地域交流	内 容		評 価	
①地域行事への参加や市民との交流	地域イベントの実施	継続	大府市福祉健康フェアへの参加や東あけび苑フェスタやたくとフェスタを開催した	○
	招待行事の積極的な参加	継続	招待行事や公民館まつり等に積極的に参加した	○

(3)広報活動	内 容		評 価	
①広報機能の充実	機関紙のあり方	見直し	年2回の発行を行った。	○
	広報活動にかかる媒体のあり方	継続	SNSの在り方、ホームページの充実に向けて検討しリニューアルに着手した	○
	企業・商店等と協力関係による広報	継続	くると大府へ商品を出展した	○

法人本部事務局

【重点事項】

コンサルタントを入れた財務分析と財務計画の策定	○
上半期にコンサルタントを入れての法人の財務分析を行った。財務の状況が客観的に分析され、強みと弱みが明らかとなった。 その上で、令和6年度からの財務計画は財務分析の結果を踏まえた課題の改善を盛り込んで策定を行った。また、事業中長期計画との連動したものとし、施設設備の改修等の大規模支出についても想定したもとして策定した。 本部事務局としては、財務分析の手法について学ぶ機会にもなった。	
各種規程・規則の運用について整理を行う	○
主に職員の労務管理に関わる就業規則と給与規程について、条文では読み取ることが難しい内容について運用の整理を行った。また、正規職員の定年延長に関する就業規則の改定にも取り組んだ。	

【職員配置】（年度末時点）

常務理事	管理者	常勤職員（3名）	相談支援専門員（1名）	社協へ出向
------	-----	----------	-------------	-------

あけび苑

【重点事項】

あけび苑本館・南館の屋上防水工事と外壁塗装工事を実施する	○
業者選定が遅れたが、年度内に見積り合わせにより業者を決定し、令和6年2月に着工した。工事の完了予定は令和6年5月。	
業務継続計画（震災版）の職員への周知と避難所の開設のための防災訓練を実施する	○
令和6年2月に職員会議で職員に対して業務継続計画の説明を行った。さらに、3月には防災訓練として、社会福祉協議会の協力のもと、石ヶ瀬自治区と合同であけび苑の備蓄品の確認やパターション、発電機の操作の確認を行った。その後、社協職員の進行でHUG（避難所運営ゲーム）を行い、災害時の避難所での避難者の受け入れのシュミレーション訓練を行った。	

【実施事業及び実績】

事業	生活介護事業	就労継続支援B型事業
定員	28名	12名
サービス提供時間	9時00分～16時00分	
契約者数（年度末）	30名	13名
開所日数	249日	249日
延利用者数	6,903名	2,933名

【職員配置】（年度末時点）

生活介護事業	就労継続支援B型事業
管理者（常勤兼務1名） 看護師（非常勤1名）	サービス管理責任者（常勤兼務1名） 嘱託医（非常勤1名） 用務員（非常勤1名）
生活支援員（常勤8名、非常勤8名）	職業指導員（常勤1名） 生活支援員（非常勤1名）

【就労支援事業実績】

	生活介護事業	就労継続支援B型事業
収入	1,488,251円	4,052,503円
支出	1,481,500円	3,817,500円
当期収支差額	6,751円	235,003円
取引先	タツミ化成株式会社 有限会社あいちリネン トーエイ株式会社 幸伸株式会社 株式会社マツミヤケミカル 柏木産業株式会社 フジイ化工株式会社 銀のさら大府店 株式会社ダイコーゴム 株式会社花井養鶏場 株式会社吉見製作所 大府ロータリークラブ 有限会社矢田化学工業 株式会社SKM(コラビア) なりた農園	

【主な事業の実施内容】

○全体事業

大項目	小項目	時期	実績	評価
行事	石ヶ瀬コミリンピック	11月5日	半日で開催される。希望者のみ参加。	○
	福祉・健康フェア	9月24日	あけび苑会場も含め通常開催	○
	成人式	1月12日	利用者1名の成人を祝う	○
安全確認	総合防災訓練	3月21日	避難訓練・通報訓練・防災ビデオ視聴	○
健康管理	健康診断	7月12日	共和病院で尿・血液・血圧等の検査を実施	○
	歯科検診	10月4日	大府市歯科医師会の協力を得て実施	○
	各種予防接種	随時	予防接種を希望者が接種	○
研修	職員研修	通年	年間4回実施	○
	パート職員研修	適時	年間2回実施、1回未実施	△
職員会議	定例会議、ケース会議等	通年	各種会議を適時に開催	○
虐待防止	虐待防止・身体拘束適正化検討委員会	8月2日	外部有識者を含むメンバーにより開催	○
給食	行事食、通常食	通年	嗜好・栄養・衛生等に留意し実施	○
家族への支援	緊急時の支援	随時	緊急時に家庭で介助できない際に対応	○
	家族会の開催	第2木曜日	定例会12回、勉強会1回開催	○
	父親・兄弟研修	—	コロナで一部中止、延べ10人実施	△
招待	福祉コンサート等	9月27日	名フィルコンサート招待（刈谷）	○

○事業別事業

大項目	小項目	時期	生活介護事業		就労継続支援B型事業	
			実績	評価	実績	評価
作業活動	下請け作業	通年	前年度同等	○	前年度比で増	○
療育活動	各種体操	月2回		○	—	—
	音楽療法	第1火曜日		○	—	—
	絵画・創作活動	第4水曜日		○	—	—
宿泊実習	宿泊実習	—	希望者で実施	○	希望者で実施	○
行事 その他	アダプトプログラム	通年	公園美化	△	—	—
	日帰り旅行（生）	11/1, 2, 8, 9	長久手	○	—	—
	おまかせ外出（就）	10/20, 25, 27	—	—	名古屋市他	○
	カフェ会（生）	2/7, 13, 15,	班単位で実施	○	—	—
	新年会（就）	1/23, 30	—	—	大府市内	○
	レストラン会（生）	3/8, 9, 15, 16	東海市	○	—	—
	お疲れさま会（就）	3/5, 12	—	—	大府市	○
	勉強会（就）	5/23, 12/20	—	—	施設内	○

東あけび苑

【重点事項】

防災倉庫を設置する	○
敷地内の駐車場横に防災倉庫を新設し必要な備品を検討、購入し非常災害時に備えることができた。今後、更に必要と思われる備品を追加していく予定をしている。	
市民向け勉強会の準備をする	○
東あけび苑、たくと大府、あけびの実の3事業所合同で市民向け啓発事業の準備を進め、3月10日、二ツ池公園にて近隣法人の協力を得て障がい者施設で製造したお菓子を販売する「クッキーフェスタ」を開催した。	

【実施事業及び実績】

事業	生活介護事業	就労継続支援B型事業
定員	30名	10名
サービス提供時間	9時00分～16時00分	
契約者数（年度末）	32名	8名
開所日数	248日	248日
延利用者数	6,817名	2,079名

【職員配置】（年度末時点）

生活介護事業	就労継続支援B型事業
管理者（常勤兼務1名） 看護師（非常勤1名）	サービス管理責任者（常勤兼務1名） 調理員（非常勤2名）
生活支援員（常勤4名、非常勤4名）	職業指導員（常勤1名）、生活支援員（非常勤1名） 目標工賃達成指導員（常勤1名）

【就労支援事業実績】

	生活介護事業	就労継続支援B型事業
収入	1,579,217円	4,221,949円
支出	1,655,881円	4,166,066円
当期収支差額	-76,664円	55,883円
取引先	株式会社松尾製作所 株式会社カワグチ タツミ化成株式会社 大府市地域婦人団体連絡協議会 株式会社ダイコーゴム 有限会社矢田化学工業 アド株式会社 株式会社マツミヤケミカル 株式会社エイト	

【主な事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	実績	評価
作業活動	下請け軽作業	通 年	年間を通じ、比較的安定した作業活動を実施	○
	受注・委託作業等		作業の特徴を踏まえ、受注を調整して実施	○
療育活動	リフレッシュ活動	適 時	散歩・運動・創作活動などを実施	○
	音楽療法・体操	通 年	専門講師を招き、定期的を実施	○
親 睦	歓迎会	4月13日	新職員、新利用者との交流のみ実施 コロナ対策として会食は家族の参加なし	○
	日帰り旅行	2月15, 28, 29日 3月22日	少人数のグループに分け、感染症対策にも十分に配慮した上で実施した	○
社会生活 学 習	避難訓練	年4回	火災・地震を想定し、訓練を実施	○
	総合防災訓練	2月27日	避難訓練・消火器体験	○
	宿泊実習	6月～7月	自宅外で宿泊できる力を高めるとともに、個々の生活力を高める	○
	交通安全対策	5月～6月	事故防止のため同行指導等により実施	○
行 事	北山区民運動会	5月27日	北山小と地域の合同運動会に参加	○
	北山夏祭り	8月5日	祭りのスタッフとして職員が参加	○
	北山公民館祭り	9月9日	自主製品の販売コーナーを出店	○
	共和東保育園との交流会	10月20日	東あけび苑フェスタで展示する作品を園児と共に製作する	○
	東あけび苑フェスタ	11月5日	餅の配布、フリーマーケットの企画等で一般市民を招き相互理解を深める	○
	芸能祭	5月・8月	地域のボランティアを招いて実施	○
	成人式	1月12日	利用者4名の成人を祝う	○
健康管理	健康診断	6月28日	共和病院で尿・血液・血圧等の検査を実施	○
	歯科検診	10月4日	市内歯科医師会の協力により実施	○
	各種予防接種	随 時	予防接種を希望者が接種	○
職員研修	内部研修	通年・適時	法人内研修会・苑内自主勉強会等を実施	○
	外部研修	通年・随時	県福祉協会・県社会福祉協議会等関係団体により企画・開催される研修会に参加	○
職員会議	定例会議	毎週火曜日	事業の検討・情報共有を目的に毎週実施	○
	個別支援計画会議 ケース会議等	適時・通年	支援の考察に係る様々な意見提供・検討を目的として開催	○
虐待防止	虐待防止・身体拘束 適正化検討委員会	7月20日	外部有識者を含むメンバーにより開催	○
給 食	行事食・通常食	通 年	嗜好・栄養・衛生等に留意し、実施	○
家族への 支 援	緊急時の支援	随 時	家族の緊急時に一時預かりを実施	○
	家族会の開催	第2木曜日	家族同士・職員と家族が相談・協議	○
	個別面談	適 時	生活と利用意向の把握を目的として実施	○
	家族会研修会	9月28日	フラダンス講習会	○

【居室確保事業実績】 0件

ひだまり

【重点事項】

●地域と連携して防災活動をする	○
あけび苑と石ヶ瀬自治区役員と合同で、防災ベットの組み立て訓練とあけび苑備蓄倉庫の備品確認。大府市社会福祉協議会職員の講師を招いて避難所運営ゲーム（HUG）で地震が実際に起きてから避難所開設までの模擬体験の研修を行った。	
●第三者評価の結果を踏まえた改善していく	○
第三者評価でb項目だった項目全体を見返し、今年度改善できる点を改善した。一例として職員会議以外での非常勤職員への情報伝達（周知）、薬情報の変化があった際の全職員への周知として、『全職員周知事項回覧様式』を作成。周知内容欄と確認後の各職員サイン欄を設け、勤務時間帯の異なる職員間での情報共有の一つの手段を作った。来年度以降も更なる改善を目指す。	

【実施事業及び実績】

事業	生活介護事業
定員	20名
サービス提供時間	9時30分～15時30分
契約者数（年度末）	16名
開所日数	249日
延利用者数	3666名

【職員配置】（年度末時点）

管理者（常勤兼務1名） サービス管理責任者（常勤兼務1名）
 生活支援員（常勤2名、非常勤3名） 看護師（非常勤1名） 嘱託医（非常勤1名）

【就労支援事業実績】

収入	547,145円
支出	505,714円
当期収支差額	41,431円
取引先	トーエイ株式会社 愛三工業株式会社

【主な事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	実績		評価
作業活動	下請け軽作業	通年	ウエスの裁断		○
	自主製品等 その他	適時	石鹸づくり		○
			あけびの実クッキーの配達		○
		通年	自動販売機管理		○
諸活動	健康維持活動	通年	介護予防体操・散歩		○
	社会的活動	通年	買い物・喫茶・公共施設利用		○
	文化的活動	通年	創作・絵画・音楽		○
行事	歓迎会	6月12日	室内で、新職員を囲んで食事と歓迎会をコロナ感染対策を考慮しながら実施した		○
	新年会	—	コロナウイルス感染予防で中止		—
	日帰り旅行	9月20・27日	南知多 ビーチランド	親睦と見聞を深め、心身のリフレッシュを目的とする。グループごとに実施	○
		10月2・5日			
	喫茶会	2月21・26日 3月6日	スターバックス コーヒー	親睦を深め、心身のリフレッシュを目的とするとともに、地域資源の活用体験の機会として実施	○
誕生日会	誕生日	誕生日を迎えた利用者のお祝いを実施		○	
健康管理	健康診断	6月19日	共和病院で尿・血液・血圧等の検査を実施		○
	歯科検診	10月4日	市内の歯科医師会の協力による歯科検診を実施		○
	各種予防接種	随時	予防接種を希望者が接種		○
	検温・血圧 体重測定	適時	定期的に測定し、健康状態の把握に役立つ		○
危機管理	避難訓練	2回	火災・震災時を想定した体験学習を実施		○
研修	職員研修	随時	内部研修及び外部関係団体等の研修会に参加		○
会議	職員会議	毎週火曜日	事業の検討・利用者支援の考察・検討を実施		○
虐待防止	虐待防止・身体拘束適正化検討委員会	7月13日	外部有識者を含むメンバーにより開催		○
給食	通常食・行事食	通年	委託業者等と連携し、質・量等健康対策に留意して実施		○
家族支援	緊急時の支援	随時	1回 病院での付き添い		—
	家族会の開催	隔月	家族同士・職員と家族が相談・報告・協議		○

【居室確保事業実績】 0件

あけびの実

【重点事項】

第三者評価を受審する。	○
<p>第三者評価を受けるにあたっての事前研修を11月7日に行った。その後、令和6年1月18日と2月16日に訪問調査が実施された。評価結果が出た後に職員にて評価結果から見えた施設の強みや改善が求められる点の共有を行った。改善が必要な箇所については、令和5年度以降から順次着手出来るように実施計画書の作成をした。第三者評価の受審から評価、改善策の抽出、実施計画書の作成に至る一連の流れを行い達成することが出来た。</p>	
職員の労働環境を改善する。	○
<p>令和4年度の有給休暇の取得率より向上することを目標に掲げていた。結果としては達成できた。令和4年度の正規職員の合計取得日数（管理者を除く）は28日で令和5年度については39.5日であった。日数にして11.5日の増加になった。また、個人別の取得率についても前年度より増加した人が3分の2となり、平均の取得率については55%から72%へと上昇することが出来た。</p>	

【実施事業及び実績】

事業	就労継続支援B型事業
定員	20名
サービス提供時間	9時00分～16時00分
契約者数（年度末）	16名
開所日数	260日
延利用者数	3,886名

【職員配置】（年度末時点）

管理者（常勤兼務1名）	サービス管理責任者（常勤兼務1名）
職業指導員（常勤1名）	生活支援員（非常勤2名）
目標工賃達成指導員（常勤2名）	

【就労支援事業実績】

収 入		支 出	
下請作業	6,525,013円	給料	6,824,700円
販売作業	8,358,025円	材料費・光熱水費等	5,680,690円
雑収入（預金利息等）	69円	手数料・消費税等	533,903円
収入合計	15,416,800円	支出合計	14,219,536円
		当期収支差額	1,197,264円

取引先	
株式会社松尾製作所 株式会社豊田自動織機（大府工場・共和工場・長草工場） 住友重機械工業株式会社 愛三工業株式会社 日多加産業株式会社 株式会社デンソー阿久比製作所 株式会社オルカレストランシステム（市役所食堂） 大府東高校 大府市（市内各保育園）株式会社名古屋多田精機 おおぶ文化交流の杜 株式会社魚初（至学館大学内Yショップ） 共和保育園 KURUTOおおぶ 有限会社矢田化学工業 おおぶフェアトレードタウン推進委員会 y a u . c o f f e e ラ・ファルファアラ	

【主な事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	実績	評価
作業活動	ベーカリー作業	通年	パン・クッキー・パウンドケーキの製造	○
	組み立て作業		自動車部品の簡易な下請け軽作業	○
販売活動	店頭・出張・委託販売	通年	店頭及び様々な事業所、催し先での販売	○
就労支援	一般企業就労支援	—	希望者なし	○
行事	親睦旅行	11月16/17	静岡の清水方面と富士サファリパークへ行く	○
	日帰り旅行	6月23/30	リトルワールドとリニア鉄道館へ分かれて実施	○
	忘年会	12月28日	市内の飲食店にて日頃の労を労うために行う	○
健康管理	健康診断	7月5日	共和病院にて健康状態を検査する	○
	歯科検診	10月4日	歯科医師会の協力を得て希望者が検診	○
	各種予防接種	随時	予防接種を希望者が接種	○
	検便	2回実施	食品製造従事者に義務付けられている検便を全員年2回実施する	○
研修	職員研修	通年	法人内部研修・外部関係研修に適時参加	○
	利用者研修	2月9日	外部講師を招き「働くために必要なこと」を学ぶ	○
職員会議	定例会議、ケース会議等	通年	1年を通して各種の会議を適時に開催	○
虐待防止	虐待防止・身体拘束適正化検討委員会	7月31日	外部有識者を含むメンバーにより開催	○
給食	通常給食・自由昼食	通年	出張販売に行った後は自由給食として近隣の飲食店やテイクアウト食を楽しむ	○
安全確認	総合防災訓練	2月・3月	消火器使用訓練や防災のビデオを視聴する 東あけび苑、あけび苑と合同開催	○
	避難訓練	10月31日	火災・震災時を想定した避難訓練や避難場所の確認、非常食の体験を行う	○
家族支援	緊急時の支援	随時	緊急時に家庭で介助できない際に一時的に預かる。今年度要請なし	○
	家族会の開催	4・9・1月	家族同士の相談、事業所からの報告、協議する場として、適時開催する	○
	家族会研修会	1月24日	成年後見制度について学ぶ	○

たくと大府

【重点事項】

防災倉庫を設置する	○
たくと大府の空きスペースを1室使い、防災倉庫として活用することにした。非常食、飲料水を始め、携帯トイレなど防災用品も買い足し、災害時への備えをすることができた。	
重度障害者支援加算を申請し、支援力の強化や収入を確保する	△
年度始めは見込み通りの加算が取れ、十分な人員体制で支援ができていたが、数ヶ月で退職による人員不足が発生し、昨年度並みの加算を取ることはできなかった。支援力の強化や収入の確保は期待した通りにはいかなかった。	

《生活介護事業》

【実施事業及び実績】

事業	生活介護事業
定員	30名
サービス提供時間	9時00分～16時00分
契約者数（年度末）	27名
開所日数	248日
延利用者数	6,496名

【職員配置】（年度末時点）

管理者（常勤兼務1名）	サービス管理責任者（常勤兼務1名）
生活支援員（常勤13名、非常勤9名）	看護師（非常勤1名） 嘱託医（非常勤1名）

【就労支援事業実績】

収入	2,226,370
支出	2,122,991
当期収支差額	103,379
取引先	株式会社マツミヤケミカル 株式会社カワグチ フジイ化工株式会社 タツミ化成株式会社 株式会社松尾製作所

【主な事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	生活介護事業	
			実績	評価
生産活動	受託作業活動	通年	取引先企業より作業を受託する	○
グループ活動	スリム体操	週1回	多目的ホールを使い定期的に実施	○
	サーキット運動	月2回	多目的ホールを使い定期的に実施	○
	バランスボール運動	月2回	多目的ホールを使い定期的に実施	○
	3B体操	月1回	専門講師に依頼して実施	○

	ミックススポーツ	月2回	専門講師に依頼して実施	○
	音楽療法	月2回	専門講師に依頼して実施	○
	絵画活動	月1回	専門講師に依頼して実施	○
	おかしバイキング	月2回	多目的ホールを使い定期的実施	○
	お茶会	年3回	あけびの実のイトインにて実施	○
自立課題	自立課題活動	通年	机上で行う自立活動を実施	○
社会生活学習	宿泊実習	11月～2月に全9日程	たくと大府にて家族のレスパイトを兼ねた宿泊体験を実施	○
行事	歓迎会	4月13日	多目的ホールにて開催	○
	鑑賞会	2/20, 29, 3/5, 7	イナックスライブミュージアムに出かける	○
	たくとBBQ	10/12, 20	たくと大府テラスにて開催	○
	たくと大府フェスタ	11月5日	セレクトナ、東あけび苑と同時開催	○
	レストラン会	12/12, 15, 19, 20	ブルーボネットにて会食	○
	成人式	1月12日	多目的ホールにて開催	○
防災	総合防災訓練	3月18日	消火器使用実施訓練等	○
健康管理	健康診断	7月19日	共和病院で尿・血液等の検査を実施	○
	歯科検診	10月4日	大府市歯科医師会の協力を得て実施	○
	各種予防接種	随時	予防接種を希望者が接種	○
研修	職員研修	通年	自閉症支援に関する研修や虐待に関する研修等3回実施。非常勤向けの勉強会も3回実施	○
職員会議	定例会議、ケース会議等	通年	一年を通して各種の会議を適時に開催	○
虐待防止	虐待防止・身体拘束適正化検討委員会	7月24日	外部有識者を含むメンバーにより開催	○
給食	通常給食	通年	栄養バランスの取れた給食を提供	○
家族支援	緊急時の支援	随時	緊急に家庭で介助できない際に対応	○
	家族会の開催	月1回	一年を通して会議を開催	○

【居室確保事業実績】 1件

《日中一時支援事業》利用定員：10名／日

【実施事業及び実績】

事業	日中一時支援事業
定員	10名
サービス提供時間	15時00分～18時00分 (長期休み期間は10時00分～15時00分)
契約者数(年度末)	23名
開所日数	237日
延利用者数	1,466名

【職員配置】(年度末時点)

生活支援員(常勤2名、非常勤5名)

地域生活支援センター「そら」

【重点事項】

人材育成の強化	○
ホームヘルプ事業については支援力に応じた研修計画・研修内容（新人ヘルパー向け・ベテランヘルパー向け）の作成を行った。今後からはそれを基に取り組んでいくこととする。 ホーム事業については、一部エリアではホーム研修以外にも定期的に勉強会を行っている。今後は、他のエリアでも定期的に勉強会を行っていくこととする。	
ホームスタッフが安心して働ける環境の構築	△
各ホームの担当スタッフを配置しホームの問題やホームスタッフの困りごとに迅速に対応できるよう取り組んできたが、あまり機能しているとは言えなかった。 近隣事業所との GH 連絡協議会に参加し、ホームスタッフへのアンケート調査やそれぞれの事業所の課題や取り組みについての情報共有を行った。	

ホームヘルプセンター「そら」

【事業の実績】

利用契約者数（年度末時点）			
所 属	法人利用者	一般成人	学 齡 児
人 数	86名	17名	8名

事 業 名		年間利用時間	対 象 者	評価	
障がい 福祉 サービス	居宅介護 事業	家事援助 身体介護 通院等介助	17.5時間 15.5時間 198.0時間	知的障がい者 身体障がい者 指定児童	○
	行動援護事業		958.0時間	知的障がい者 知的障がい児	○
地域生活 支援事業	移動支援事業		4941.0時間	知的障がい者 身体障がい者 指定児童	○
オプショ ン事業	移送サービス		延べ 223人	「そら」利用者	○
	タイムケア		37.5時間	「そら」利用者	○

【事業の実施】

事 業 名	サービス提供日	サービス提供時間
居宅介護事業 行動援護事業 移動支援事業	月曜日から日曜日 ただし8月13日から16日と12月29日から1月4日を除く。	6時から22時

【その他の事業の実施】

大項目	小項目	時期	実績	評価
研修	ヘルパー研修	12月/3月	虐待防止と防災の研修を行う	○
会議	事務所職員会議	月1回	利用者状況把握、事業所内情報交換	○
	虐待防止会議	3月14日	虐待予防のための取り組み	○
	ケース会議	随時	困難事例が発生した場合に適時開催	○
虐待防止	虐待防止・身体拘束適正化検討委員会	7月19日	外部有識者を含むメンバーにより開催	○

【職員配置】 年度末時点

職名	管理者	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	登録ヘルパー
人数	1名（兼務）	2名	7名	24名

ホーム事業所「そら」

《共同生活援助事業所》利用定員40名

【住居の状況及び利用実績】

名称	事業	定員	現員	開設年度	所在地
ひいらぎホーム	グループホーム	3名	3名	平成6年度	吉川町
若草ホーム	グループホーム	5名	5名	平成9年度	若草町
池之分ホーム	グループホーム	4名	4名	平成12年度	森岡町
ひまわりホーム	グループホーム	6名	5名	平成14年度	横根町
はんつきホーム	グループホーム	10名	10名	平成18年度	半月町
みのてホーム	グループホーム	5名	5名	平成26年度	横根町
よしかわホーム	グループホーム	4名	4名	平成27年度	吉川町
くすのきホーム	グループホーム	3名	3名	平成29年度	吉川町
延利用者数		11,145名			

【その他事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	実績	評価
会議	世話人連絡会議	4回/年	入居者の情報交換や運営の打ち合わせ	○
	各ホーム定例報告会	隔月	各ホーム世話人が隔月で個別会議	○
	虐待防止会議	3月14日	虐待予防のための取り組み	○
	事務所職員会議	月1回	利用者状況把握、ホーム運営体制構築	○
研修	スタッフ研修会	10月/2月	リスクマネジメントと虐待防止の研修を行う	○
	ホームスタッフ現場実習	5月 11月	新規採用スタッフに対し現場実習を実施	○
行事	外出行事（週末行事）	年2回	規模を縮小して行っており開催できないホームもあった	△
	余暇行事（各ホーム）	適時	各ホーム外食や買い物など適時実施	○

【職員配置】 年度末時点

職名	管理者	サービス管理責任者	世話人	生活支援員	看護師
	1名（兼務）	2名	7名	19名	1名（兼務）

大府市発達支援センター みのり

【重点事項】

センターの活動を地域・関係機関に発信し、連携が取れるようにする。	○
産業文化まつりに子どもの作品を出展したり、大府市の福祉健康フェアに職員がブースを出展して広く市民にも知っていただけるようにした。 保育園の一般開放に参加、交流会を企画するなどして、相互理解に努めた。	
第三者評価の結果を踏まえた改善をしていく。	○
単独療育の子どものリハビリ参観や、学生実習の受け入れ。感染対策や救急搬送対策の計画的な実施、パンフレットの改訂、事業についての保護者への周知の仕方など、改善を行った。 改善できていないもの(予算を必要とする等)については6年度に実施していく。	

《児童発達支援事業》 定員 12名/日

【利用者実績】

契約者数（年度末時点）	開所日数	延利用者数
20名	246日	1,078名

【職員配置】 年度末時点

管理者（常勤兼務1名）	児童発達支援管理責任者（常勤兼務1名）	保育士（常勤1名）
児童指導員（常勤1名）	作業療法士（常勤兼務1名）	看護師（常勤1名）
管理栄養士（常勤1名）	調理員（非常勤1名）	理学療法士（非常勤3名）
言語聴覚士（非常勤2名）	臨床心理士（非常勤1名）	医師（非常勤2名）

【事業内容】

大項目	小項目	時期	実績	評価
集団療育	集団活動	通年	保育士・児童指導員らによる集団活動	○
個別療育	個別機能訓練	通年	理学・作業・言語療法・心理相談	○
健康管理	健康診断	8月・3月	嘱託医が来園し実施	○
	歯科検診	11月10日	嘱託歯科医が来園し実施	○
	嘱託医巡回	通年	内科(小児)医の相談・診察等実施	○
	検温・身体測定	通年	定期的に実施し体調や成長を確認	○
式典	卒園・修了式	3月15日	みのり遊戯室にて実施	○

行 事	七夕会	7月6・7日	みのり遊戯室にて実施	○
	遠足 春秋	5月17・18日 10月25・26日	明石公園・水族館(碧南市)にて実施	○ ○
	夏祭り	8月 14・15・16日	みのり遊戯室にて実施 卒園生含む15家族参加 15日のみ暴風警報発令で休み	○
	クリスマス会	12月25・26日	みのり遊戯室にて実施 13家族参加	○
	まめまき会	2月1・2日	みのり遊戯室にて実施	○
	ひなまつり会	3月2・3日	みのり遊戯室にて実施	○
	誕生会	通 年	みのり遊戯室にて実施 今年度は子どもの名前の由来を保護者に発表してもらった	○
	土曜療育	6月3日・1月5日	父親・祖父母参加	○
	5周年 記念イベント	9月30日	卒園生も招待し、開所から5年経過したことをお祝いした	○
交 流	保育園交流	5月・6月・11月 11月・12月	森岡保育園・森岡西保育園(東浦町) 若宮保育園	○
	地域交流	5月・6月 10月・11月	石ヶ瀬・吉田児童老人福祉センターにて実施	○
防災	非常時対応訓練	毎 月	地震・火事・不審者対応 月替わりで実施	○
懇 談 家族支援	センター長懇談会	7月	計画回数(2回)できず	△
	個別面談	7・11・3月	個別支援計画の作成等で実施	○
研 修	職員研修	通 年	内部研修及び外部関係団体研修参加 他事業所が主催するものに参加したり、みのりの勉強会に他事業所に声をかけるなどした	○
保護者研修	卒園児保護者による進路相談会	7月3日	みのり遊戯室・活動室にて実施	○
	福祉サービスについて	1月15日		
職員会議	定例・ケース会議	通 年	児童の支援・運営に関することを協議	○
虐待防止	虐待防止・身体拘束 適正化検討委員会	7月31日	外部有識者を含むメンバーにより開催	○
給食	給食	通年	栄養・発達・嗜好に留意し実施	○

《保育所等訪問支援事業》

【利用者実績】

利用児数	延べ実施回数
1名	4回

【職員配置】 年度末時点

管理者（常勤兼務1名） 作業療法士（常勤兼務1名）	児童発達支援管理責任者（常勤兼務1名）
------------------------------	---------------------

《相談支援事業》 特定相談支援事業 障害児相談支援事業

【利用者実績】 全て障害児相談 特定相談実績なし

計画作成件数	モニタリング件数
59件	129件

【職員配置】

管理者（常勤兼務1名）	相談支援専門員（常勤1名）
-------------	---------------

【事業内容】

支援内容	実績	評価
生活全般に係る相談	家族からの相談に対応	○
サービスの情報提供	サービス等に関する情報提供	○
計画作成及びモニタリング	利用計画の作成及びモニタリング	○
関係機関との調整	障がい福祉サービス等に係る機関との調整	○

令和5年度リスクマネジメント件数

	ヒヤリハット	事故	苦情	身体拘束	虐待調査	虐待認定
あけび苑	38	15	7	4	0	0
東あけび苑	8	13	3	7	2	1
ひだまり	3	7	0	1	0	0
あけびの実	7	23	4	0	0	0
たくと大府	41	38	8	21	0	0
ホームヘルプ「そら」	4	15	2	0	0	0
ホーム事業所「そら」	3	17	4	0	1	0
みのり	46	6	1	0	0	0
本部	0	15	1	—	—	—
合計	150	149	30	33	3	1

	主な内容
ヒヤリハット	利用者への危険、利用者間のトラブル、他害行為、車両運行、受注作業の手順
事故	利用者のケガ、職員のケガ、車両事故、受注作業のミス、事務処理のミス
苦情	サービス内容、職員の説明不足、家族から、利用者から、近隣住民から

たくと大府は強度行動障がいをはじめとした障がいの重い利用者を数多く受け入れている事業所の特性から、利用者本人の安全と周りの安全のため身体拘束の件数が多くなっている。

事業所により件数に大きな差がみられることの理由として事業所の種別や利用者の特性によるものと、事業所ごとのリスクに対する意識の違いが考えられる。全事業所が共通の認識をもってリスクマネジメントに取り組んでいけるよう対策を講じていく。

虐待事案に関して、大府市高齢者・障がい者虐待防止センターにより合計3件の調査を受け、東あけび苑での1件が虐待と認定された。認定された事案については法人内で協議・検証し必要な対応を行い、センターに改善計画書を提出した。その後、計画に沿って虐待防止の取り組みを進めている。

令和5年度大府福祉会の総括

法人の運営

【中長期総合計画の推進】

第4期計画の最終年の取り組みについては、概ね計画通りに遂行することができた。同時に、第5期計画の策定に取り組み、作成にあたっては今後の事業展開を見据えてコンサルタントによる経営シミュレーションも行った。その結果も踏まえて第5期計画の内容は前半が基盤固めの時期とし、後半は発展的な取り組みを行う内容となるよう作成した。

【収支決算と経営計画の推進】

令和5年度は、収入では利用者の減が影響し、障害福祉サービス等収益が前年比で約1200万円の減額となった。一方の支出では大規模な工事等の実施が無かったこともあり、収支は安定している。結果として経常増減差額は約1900万円となり、昨年度よりも収支差額は大きくなっている。そうした状況もあり、収支の中から積立金は新たに2275万円増額することができた。

新事業積立金の残高は5280万円となっている。

年度末時点での資産の総額は692,205,554円。

新たな事業に向けての取り組み

【事業の整備】

新たな暮らしの場の確保については人材確保の課題や財務分析結果から見てきた法人の財務状況などから、次期計画期間での実現に向けての動きは見送ることになる。しかし、既存のグループホームでの週末の受け入れニーズに応え、週末利用者を増やした。また、ホームを支える仕組みとして、「そら」スタッフを各ホームの連絡や支援の調整役として配置し、支援体制を強化した。

【事業運営の強化】

高齢化する利用者への支援はスクリーニング調査を継続した。虐待防止の取り組みは令和4年度に事業所ごとに設置した虐待防止委員会を開催し全職員への研修も実施し、虐待や権利擁護に対する意識の向上を図った。

【利用者の安心・安全の保障】

災害時の備えとして法人版BCPを作成し、東あけび苑とたくと大府に防災備蓄を設置した。また、あけび苑として自治区の役員を招いての防災訓練を実施し、備蓄の確認や避難所運営ゲームを行った。大規模修繕については、あけび苑の外壁塗装・屋上防水工事を実施し、公用車の入れ替えはたくと大府とあけびの実で実施した。

人材育成の取り組み

【メンタルヘルス対策】

今年度よりストレスチェック制度を導入し、心の健康対策に取り組んだ。法人として、職員個人の状況、事業所ごとの状況を把握し、集団分析により傾向を把握し、必要に応じて面談や通院のすすめなどメンタルヘルスの維持・向上のために必要な措置を講じた。

【法人研修の実施】

これまで大府福祉会法人研修として取り組んできた過去8年分の研修内容を振り返り、学びたい内容をアンケート方式で職員に聞き取り調査を行った。不足している知識や職員が求めている内容が分かり、今後の研修テーマにつなげることができた。

地域に向けての取り組み

【地域への貢献活動】

貸館機能については継続、小学生体験も実施した。市民向け勉強会についてはより多くの市民に啓発できるよう、従来とは形を変え「クッキーフェスタ」と称し、二ツ池セレクトナにて市内事業所1ヶ所、市外事業所2ヶ所と一緒にクッキー販売を実施し、多くの市民が障がい福祉に触れる機会を設けることができた。

【地域交流】

福祉健康フェアに参加し、東あけび苑フェスタ、たくと大府フェスタを開催した。また公民館まつり、防災訓練など各地域で行われるものにも参加し、地域との交流を推進することができた。

【広報機能の充実】

効果的な情報発信について検討し、ホームページリニューアルに着手した。デザイン業者に依頼した新ホームページが令和6年6月頃完成予定になっている。募金箱設置や機関紙発行についても引き続き実施した。